

○徳島カム株式会社

カムは機械の回転軸に取り付けられる部品の1つで、回転しながら別の部品に一定のタイミングで動力を伝える働きを持つ。

同社の製品は工作機械や組立機械、印刷機械、食品機械、包装機械など幅広い産業分野に採用されており、取引先は全国で500社を超え、カム専門メーカーとしてオーダーメイドカムの売上高では国内第2位である。カムの形状は円盤状のものから円筒形、棒状、歯車状など働きによって異なるが、カムと名前の付くものは何でも受注している。

同社の売りは「日本一早い納期」。カム設計から旋削、マシニング加工、研削、検査などの作業工程を一貫して手掛けることで、他社に比べて短納期を実現した。最短2～3日、通常2～3週間でほとんど納品できる。カム設計技術・ソフトウェア、価格と品質の70%を決定する生産技術・設備、技術者・技能者の育成、が同社の強みである。

産業機械の専門メーカーは日本各地にある。各メーカーは、独自の技術を持ち、わが国のみならず世界を相手にしている。カムも1台につき1個から数個必要であり、細かくスピーディーな対応で顧客に満足していただき、リピーターになってもらえるよう努力している。

(本社：北島町、1981年設立、資本金1,000万円、年間売上高7.4億円、従業員数56名)

○東光株式会社

1968年に日本で初めてパンティストッキングを製造した女性靴下業界の先駆的企業。1987年に発売し翌年に全国的なヒットを記録したハードサポートタイプの高級パンティストッキングは、現在も高い支持を得続けており高いシェアを有している。

近年の主力製品は「疲れを和らげる」といったメディカル系の機能性ストッキングであり、リンパ浮腫等の治療用ストッキングなど独創性のある高付加価値製品開発にも力を注いでいる。2005年には徳島県より医療機器製造業の許可を取得、ストッキング業界として初の許可工場となり、全国の医療機関に向けて出荷をしている。さらに2007年には医療機器製造販売業の許可を取得し、カスタムメイド商品を中心とした販売を展開している。2021年には、医療機器の品質管理システムに関する国際規格「ISO13485」認証を取得した。また、近隣アジアへの輸出にも注力している。

加えて、OEM生産を主軸とした経営方針から幅を広げ、2017年には阿波藍を使用した地域色豊かな着圧製品や地震国日本における災害対策補助ツールとしての防災靴下といった自社ブランドを開発するなど、消費者志向に傾倒した製品づくりを目指している。2022年にはSDGsの取組活動の一環として徳島県と「災害時の避難所等におけるエコノミークラス症候群の予防に関する協定」を締結し、防災靴下の備蓄・供給確保、エコノミークラス症候群の予防に関する啓発にも取り組んでいる。

(本社 徳島市、1946年設立、資本金1億円、従業員120人)

○阿波スピンドル株式会社

同社は江戸時代初期より錘(現在はスピンドル)づくりを続けており、世界の繊維産業とともに発展し、現在では繊維・産業資材用繊維向けスピンドル、紡糸用エアノズルなど繊維機械向け部品を製造・販売している。AWAブランドの繊維機械部品は、中国、東南アジアやヨーロッパ諸国の計16ヵ国へ輸出されるなど、国内はもとより海外への繊維機械メーカーにも広く利用されている。また繊維機械向けスピンドルで培った生産技術を用いて、工作機械向け部品をはじめ医療関連部品・半導体部品・傷検査装置の製造も行っている。

こうした製造を支えているのは、高周波焼き入れ・研磨・バランス調整・穴あけの4つのコア技術である。高速かつ安定した回転を得られるスピンドルの製造技術を他分野にも応用した製品の開発を目指している。

2020年にはISO9001(品質)、14001(環境)、45001(労働安全衛生)の3マネジメントシステムでの認証を取得し、経営の革新を進めている。

近年では、長年培ったノウハウやコア技術を生かして24時間自動稼働の生産態勢に着手するとともに、稼働率・製品精度・品質をさらに向上させるため2023年には本社第4工場・第5工場をリニューアルした。生産機械データの集約・可視化、生産・検査工程におけるAI活用、省エネ・節電に向け保温性に優れた構造の採用により、「スマートファクトリー」の実現を目指している。

新たな事業展開として、2025年9月に当社の強みであるモーター型のスピンドル(回転軸)と光学レーザーを組み合わせ、機械部品の穴の内部を検査する装置を開発した。装置は部品の穴に細長いスピンドルを入れるとモーターの動力で高速回転し、レーザー光を出力。レーザーの跳ね返り具合から、傷や欠け、削り残し、へこみなどを測定する。それと同時に、穴の直径や真円度、同軸度も同時に検査できる。既に自動車や航空機、建設機械向けの部品検査で引き合いが高まっており、さらなる用途やニーズを開拓している。

また2021年に設立した「あらたえファーム株式会社」では、有機肥料活用、農薬不使用のコメや野菜づくりに取り組んでおり、2022年にはシイタケやキクラゲの栽培にも着手している。「食の安全と安心」を守ることを目的として、この分野の拡大も目指している。

(本社 吉野川市、創業1868年設立、資本金4,800万円、従業員数82人)

(蔭西義輝)

徳島県内企業売上高ランキング

(億円)

	企 業 名	所在地	業 種	売上高
1	日亜化学工業(株)	阿南市	LED製造	3,806
2	(株)大塚製薬工場	鳴門市	医薬品製剤製造	1,443
3	ノヴィル(株)	徳島市	総合レジャー産業	582
4	四国化工機(株)	北島町	食品機械・同装置製造	512
5	(株)ワークスタッフ	徳島市	労働者派遣	369
6	(株)キョーエイ	徳島市	総合スーパー	353
7	徳島魚市場(株)	徳島市	魚介類卸売	344
8	富田製薬(株)	鳴門市	医薬品製剤製造	206
9	徳島県農業（協）	徳島市	農業協同組合	198
10	日本フネン(株)	吉野川市	ドア製品製造	164
11	徳島青果(株)	徳島市	青果卸売	163

注： 金融業・総合リース業・大学は除く

出所：「TSR情報 新春特集号 2026.01」東京商工リサーチ高松支社